

学校だより



市川市立平田小学校

～共に学ぶ 共に育つ 共に感動する 共に未来を創る～

いなほ  
稲穂

学校教育目標

夢をもち、たくましく生きる  
子どもの育成

No.15

令和5年10月19日

校長 蜂須賀 久幸

<https://ichikawa-school.ed.jp/hirata-sho>

## 学校でウンコすることは、悪いことじゃない！

「ウンコ（ウンチ）」や「おしっこ」、「排便」などについて、人前で話をするのは、嫌われるかもしれません。下ネタと言われながらも、排便は毎日の生活ひいては人生の一大事と言っても過言ではないはず。仮に一日中何も食べなかったとしても、一切の排泄を我慢することはできませんし、排泄できないとしたらそれこそ拷問以外の何ものでもありません。

時々、テレビドラマでは監禁されるような場面が出てきます。手足を縛られて身動きがとれないまま一昼夜を過ごすなんてこともざらにあります。これを見てふと思うのです。トイレはどうしたのだろうか。すぐ隣から「そんなことは考えちゃいけないの！」と釘を刺されますが、気になって仕方ありません。きっと超人もしくはサイボーグだったのだと考えることにします。

さて、便秘で悩む子供が増えているといいます。様々な原因が考えられる中、夜更かしや朝寝坊、睡眠不足といったライフスタイルの乱れが一つ挙げられます。つまり、時間がなくて朝食を抜いたり排便をしなかったりするからです。また、朝に便意をもよおさないで家でウンコを“しない”子は、学校でもウンコが“できない”という現実です。数年前の調査で、「ウンコをどこでするか？」という設問に対して、「学校のトイレ」と答えたのはわずか1.4%でした。

では、「なぜ学校でウンコができないか」という問いが自然と生まれます。一昔前までは、「和式トイレ」が大きな理由に挙げられました。でも、洋式化が進んだ今では「他人の目」が一番の理由でしょう。「冷やかされる」「知られたくない」、だから学校でウンコをしないわけです。また、休み時間が短くて我慢しなければならないという状況もあるかもしれません。

でも、人は必ずウンコをします。一方で、学校でウンコをすると恥ずかしいといった暗黙知があります。このタブーを打ち壊さないと前に進めません。そんな折、女性4人組の「新しい学校のリーダーズ」というダンスボーカルユニットが、『学校でウンコ、悪くない運動』をユーチューブで発信しているのを見ました。その言葉を映像とともに多くの子供たちに受け取ってほしいと思います。

- (1) 好きな人に告白するのと、学校でウンコするのが、同じくらいドキドキするって、おかしいと思う。
- (2) 学校でウンコ、恥ずかしい。 / その考えが、恥ずかしい。
- (3) 誰かが「小」をしていた。 / 僕は「大」を我慢した。
- (4) あの子だって、ウンコするんだ。



最近では、流水音で使用中の音を消す擬音装置を備えたトイレも見かけます。こうしたハード面の改善も必要でしょうが、やはり「ウンコをするという行為は、決して恥ずかしいことではない」「大事で、しかも気持ちのよい行動である」という意識を、学校と家庭の双方で啓蒙していくことが必要だと考えます。

平田小は「トイレもきれいな学校」を目指しています。だからこそ、すべての子供たちが堂々と学校でウンコできる日が来るように、大人と子供が真面目に意識改革を目指しませんか。



- ◆ 今年の芸術鑑賞教室は、歌と踊りがいっぱいのイリュージョン・ミュージカル『アラジンと魔法のランプ』を観劇します。午前中に低学年、午後は高学年という2部制での上演です。
- ◆ たんぽぼ学級に限り、27日(月)は振替休業日となります。

※まなびくらぶは、6・13・20・27日  
 ※ヒラタケピックは10・16日に、計算マ  
 イスターは17日に行います。

1	水	委員会活動、学校徴収金引落日	17	金	すこやか検診⑤
7	火	お米マイスターと共に脱穀作業⑤	21	火	校内授業研究会③④
8	水	定例研 (13:10 下校)	22	水	クラブ活動
9	木	市川市児童生徒音楽会 PM⑥	24	金	芸術鑑賞教室
11	土	PTA資源回収	25	土	合同学習発表会 (PM 出演)
13	月	校外学習⑤	28	火	ZOZO キャリア教育出前授業⑥
14	火	修学旅行⑥ (~11/15)	29	水	SC相談日
15	水	SC相談日	30	木	就学時健康診断 (12:45 下校)



藤堂補助教員の退職と一宮教諭の妊娠に伴い、二人の職員が着任しましたので紹介します。



特別支援学級補助  
 (たんぽぼ全体支援)  
 内田 先生



妊娠教員補助講師  
 (たんぽぼ一組中心)  
 栗山 先生

## 秋の読書週間が始まります


今回のテーマは、『楽しく本を読んで、自分の世界を広げよう』です。好きなジャンルや作者があつて、そうした本を手にとったり借りたりすることが多くあるはずですが、でも、敢えて違うジャンルに挑戦してみることで読書の幅が広がりますし、新たな発見や出会いに気づくかもしれません。

「うちの子は受験をするので、学校で読書を薦めないでください」なんて笑えないような話を聞いたこともあります。気分転換や教養としての読書もあります。薬にはなっても毒になることはないと考えますがいかがですか？

■ 期 間 十一月六日(月)～十一月二十四日(金)

■ 内 容

- ① おすすめの本を読書郵便で友達や先生などに紹介します。
- ② 2～6年生は4冊まで借りられます。
- ③ 図書室前に、先生方が好きな本を紹介・掲示します。また、その本を図書室内に展示します。
- ④ 図書委員が読み聞かせ動画を作成して、二回設定された「本となかよし給食」の時に各学級で鑑賞します。



## 4年ぶりの陸上大会を終えて

秋晴れの下、選手20名が国府台陸上競技場で持てる力を発揮しようと全力で取り組みました。残念ながら正選手には選ばれなかった児童も含め、短期間でしたが一生懸命活動した姿を称えます。次の二人が入賞者です。

- ★6年男子100M走 第6位 K. Yさん
- ★5年男子走り幅跳び 第6位 T. Dさん

